

令和7年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

「ターク県メラ難民キャンプ消防車整備計画」

The Project for the Procurement of Fire Truck for Mae La Temporary Shelter in Tak Province



火災時に延焼防止のため解体される家屋



使用歴30年の借用中の消防車

実施団体	コアー財団 Catholic Office for Emergency Relief and Refugees Foundation (COERR)
プロジェクトサイト	ターク県ターソンヤーン郡
供与金額	1,860,500 バーツ
背景	<ul style="list-style-type: none">ミャンマーと国境を接するタイ北西部のターク県ターソンヤーン郡には、タイ国内9カ所のミャンマー難民キャンプのうち最大規模となる約3万7,000人が暮らすメラ難民キャンプがある(2024年末時点)。キャンプの家屋は竹やチークの葉で建てられており、急勾配の山肌に家屋が密集する環境は災害に対して脆弱。2021年には家庭で夜間の明かりとして使用していたロウソクから発生した火災が急速に拡大し、被害が79世帯425人に広がった。この大規模火災を含め、2020～2024年の間に計5回の火災で473人が被害を受け、1人が亡くなっている。キャンプでは消防車1台を保有しているものの、使用歴30年で老朽化が深刻な上、大型車両のため、急斜面の狭い道に対して車両の機動性が低く、迅速な消火活動が困難。キャンプで支援活動を行うコアー財団は、キャンプを統括する内務省関連機関との連携の下、難民ボランティアらで構成される火災対応緊急チームを立ち上げるなど、防災体制の強化を図ってきたが、迅速な消火活動のためには消防車が不可欠。
支援内容	ピックアップトラック型消防車2台
期待される効果	メラ難民キャンプの住民約3万7,000人、キャンプで活動する支援関係者、火災延焼リスクのあるキャンプ近隣のタイの6つの村の住民約6,400人の安全に寄与する。